

# 児童発達支援ガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 6名回答、回答率100%

保護者様： 27名回答、回答率90%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・1日のスケジュールや部屋を絵カードで提示しているため、児童も流れを理解し、該当する絵カードを探しながら移動することができている。
- ・個室や同線はパーテーションで区切り、視覚的な刺激を減らしている。

### ○業務改善

- ・児童対応などについて心理士や作業療法士から助言を求め、支援の質の向上に努めている。
- ・定期的に業務を振り返り、誰でも対応することができるよう育成している。

### ○適切な支援の提供

- ・業務前ミーティングで前回の様子を踏まえて今後取り組みたいことを細かく共有している。
- ・児童一人ひとりの課題や目的について話し合い、全職員が共通認識をもって支援することができるよう努めている。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・幼稚園や保育園での様子を踏まえ、園や自宅、当事業所でできることの共通認識を持ち、具体的な取り組みを提案することができている。
- ・幼稚園や保育園の先生と保護者の両者から課題点を伺い、日々の支援に生かすことができている。

### ○保護者への説明責任等

- ・契約時は重要事項を説明し、個人情報の使用同意を頂いた上で契約している。
- ・支援後に個別課題や集団課題での成果や経過を適宜保護者に共有している。

### ○非常時等の対応

- ・年2回以上、虐待防止や身体拘束適正化の研修を実施している。
- ・月1回の避難訓練は、地震・火災・水害・不審者等さまざまなケースを想定して実施している。

# 保護者様のご意見

## ○環境・体制整備

・「生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか」「職員の配置数は適切であるか」については、95%以上の方から「はい」と回答をいただいた。

## ○適切な支援の提供

・「こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか」については、100%の方から「はい」と回答をいただいた。

・「活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか」については、90%以上の方から「はい」と回答いただき、「課外学習等があれば尚良いと思います」とのご意見をいただいた。

## ○保護者への説明等

・「日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができているか」については、100%の方から「はい」と回答いただき、「小さい、細かい相談にもいつも親身に話を聞いてくれて、時には専門家に相談もしていただき大変助かっています」などのご意見をいただいた。

・「定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているか」について、「わからない」との回答を多くいただいたため、定期的に更新していく必要がある。

## ○非常時等の対応

・「非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか」について、「わからない」との回答を多くいただいたため、周知方法を検討していく必要がある。

## ○満足度

・「支援に満足しているか」については100%の方から「はい」と回答をいただき、「こどもの成長を感じています」などのご意見をいただいた。「幅のある経験ができる支援もあるといいなと思います」とのご意見もいただいたため、引き続きさまざまな支援を検討していく必要がある。

# 昨年度の振り返り

## ○今年度の取り組む具体策

- ・定期的にブログを更新。
- ・多くの利用者への避難訓練の実施と保護者への周知。

## ○改善できた点・まだ残る課題

・多くの利用者へ水害を含めたさまざまな災害を想定して避難訓練を実施することができた。しかし保護者への周知は十分ではないため、各種マニュアルの内容も含めてお伝えする必要がある。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・業務前ミーティングで前回の様子を踏まえて今後取り組みたいことを細かく共有することができている。
- ・日ごろからこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解をすることができている。
- ・児童対応などについて心理士や作業療法士から助言を求め、支援の質の向上に努めている。
- ・保護者や幼稚園、保育園、他事業所などと連携を図り、自教室でできることを全職員で検討しながら支援を充実させることができている。

### ○改善点

- ・ブログを更新し、活動概要を周知する機会を増やす必要がある。
- ・非常時等の対応について、各種マニュアルの内容や月1回の避難訓練の実施も含めて保護者へ周知する必要がある。
- ・非常時対応など、「わからない」との回答を多くいただいた事項に関して、保護者待機室に掲示するなど、周知方法の工夫が必要である。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・非常時などの対応について保護者待機室に掲示し、保護者を含めて共通認識を持てるようにする。
- ・引き続きご家庭や各関係機関との連携を強化し、一貫した支援の実現を目指す。
- ・利用者に対して、事業所としての取り組みについて積極的な情報共有を図り、透明性の高い安心できる事業所運営を行っていく。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・非常時対応について、保護者待機室にマニュアルを設置する。
- ・避難訓練を行った際には、フィードバック時に概要をお伝えし、保護者の動きも周知していく。
- ・集団のフィードバック以外にも、個別に相談の時間を設けられるようにする。
- ・定期的にブログを更新することで活動概要を周知し、利用者のみならず新規希望者に向けた発信を行う。
- ・祝日に課外活動を計画するなど、活動プログラムが固定化されないよう工夫していく。

スマートキッズ